海外からも見学者が…

眼前を通る戦闘機

平和公園

1月115人、2月142人、3月58人、4月61人。これは平和公園の一般見学者の人数です。見学といっても戦闘機の写真を撮りたい人たち、要するにマニアの方々です。冬の寒さにもめげず、連日やって来るマニアの目的は、今年中にすべて引退するF4ファントム戦闘機です。引退記念？の塗装をした特別機が飛行していたことが大きいようです。海外からやって来る見学者も目立ちます。世界で最も近くで、ファントムを撮影できるからです。4月になってからも、台湾、オランダ、ニュージーランドなどから来訪しています。

このような一般見学者の受け入れは、昨年 10 月に設立された「百里の会」が、事前申し込みを原則として、現地の管理担当者が対応可能な日に限り、平和公園の門の開閉により行っています。今後も百里基地反対運動に寄与する形で、受け入れを継続する予定です。申込み方法・遵守事項などは「百里の会」の HP に掲載しています。

百 里 の 会

自衛隊は憲法違反

第３号　2019年5月15日

一般社団法人
百里の会
茨城県水戸市見川 5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806
E-mail hyakurip@gmail.com
HP　https://hyakurip.web.fc2.com

百里基地のたたかい世界に発信

今回のニュースはここ2,3年海外からの百里基地見学が多くなってきたことを取り上げました。また、その遠因となった2009年ごろの状況を「平和かわら版」から再録させてもらいました。

1　韓国文化放送（テレビ局）、ロスアンゼルス・タイムス、百里を取材

ことの始まり

2009年3月はじめ朝日新聞に百里基地の50年にわたる記事が出た（川井弘喜さん「億のカネより平和がいい」）。それを見た韓国文化放送（MBC）の日本支局長がこれは韓国でぜひ放映したいと6月末に百里に来て取材、7月8日に韓国のテレビで流された（韓国でも米軍基地反対のたたかいが激しく起こっていた）。つぎはそのテレビを見ていたロス・タイムス社の韓国支局長が「これは特ダネになる」と、8月20日に通訳と一緒に百里に訪れた。ロス・タイムス社は日本に支局ないのでわざわざ飛行機できたのだ。1面かさもなければ大きく取り上げたいとの事だった。驚くなかれ、ロス紙はインターネットで世界中に発信しているとの事だった。

さらに、今度は東京新聞が9月に入り2度取材のため東京からこられ9月22日に2ページ見開きで1ページの3分の2の大きさで百里闘争50年を載せた（宮沢昭さん「ウソつきは泥棒のはじまり、国のウソは戦争のはじまり」）。

マスコミの関心は「何で50年以上も国を相手に闘えるのだろうか」ということが不思議でたまらないらしい。戦争に慣れっこなっているアメリカでは政府に盾をついて基地反対などという事は理解できないらしい。憲法9条の重みを感じないわけにはいかない。

かくも長きたたかい

天高く、秋たけなわの戦闘機
天高く、秋たけなわの野良仕事

百里の大空ではパイロットがF15戦闘機に乗り戦闘訓練を毎日繰り広げている。百里の大地ではお百姓さんがせっせと野良仕事をしている。戦争を放棄し、戦力不保持の憲法9条を軸に戦争と平和の引っ張り合いが言葉荒げず静かに毎日つづいている。時代は移れどこの百里原風景は50年以上経っても変わらない。

インタビューを受ける宮澤さん

ぶれない心は憲法９条があるから

「おれ達、戦争体験したものは戦争は大嫌いなんだよ。2度としちゃいけないんだよ。戦争のために土地なんか売れっこねーだろう。そんなこと、誰だってわかりきったことじゃあねーか」

「憲法に戦争しちゃあ、いけねーってちゃんと書いてあっぺよ」「憲法を守っているから、政府だって勝手な事ができないんだ。憲法もわれわれのたたかいを守ってくれているんだよ」「憲法に戦争賛美ってかいてあっか。軍隊もってもいいって書いてあっか。ウソつきは泥棒のはじまりって言うけど、国のウソは戦争のはじまりなんだよ。ウソの常識がマスコミに氾濫しているからよけい危険だよ。どんな事があても戦争は絶対にいけないんだと言う心は“ぶれて”はいけないのだ」「政治家は平気で“ぶれる”けど、平和を願う一般国民は“ぶれて”はいけないんだよ」

こんな会話のやりとりで「百里の不思議」が理解出来たらしい。「伊達さん、百里農民のたたかい、大変すばらしいです。ベリーグッド」

（平和かわら版2009年10月25日号）

Ⅱ　現代アートの外国人、百里基地を訪れる

ベトナム、レバノン、そして沖縄の現代アートを志す30代の芸術家3人が2人の通訳とカメラマンなど総勢8人で百里基地を見学したいと2009年11月9日にやってきた。自分たちのアートに平和のテーマを取り入れて、渋

谷のギャラリーで展示会を開催したいと言うのだ。権力に負けず、生活苦にもめげず、お金に目もくれず、50年以上も土地を守り、農業と戦争放棄の憲法9条を守っている百里農民。平和を願う芸術家にも魅力的らしい。話を聞くと、3人ともみんな戦争の影を負っている。ベトナムのディンQ・リーさんはカンボジアのポルポト派に親兄弟を犠牲にされアメリカに逃れ、現在はホーチミンに住んでいると言う。レバノンの方はやはりイスラエルの攻撃を目のあたりに経験したりしている。百里基地にもクラスター爆弾があると言うと、レバノンでもイスラエルからクラスター爆弾を撃ち込まれていると言う。沖縄の人は南風原陸軍病院があった南風原町に住んでいるという。沖縄戦の話を聞き今は沖縄米軍基地移転問題を自らの問題にしていると言う。

当日は、百里の梅沢さん夫妻にガイドを、宮澤さんにインタビューをお願いしました。梅沢さんからは基地の概要と平和について、宮沢さんのインタビューでは農業で生活が成り立たず困窮を極めた時期の平和闘争のこと、憲法を守ることの大切さ、これからの運動のことなどが話されていました。

「渋谷のギャラリ―は若者がいっぱい来ますので、必要なときは伊達さん、お出でいただけますか」にはたと困り言葉をにごした。彼らが百里のたたかいを知ったのは、ロス・タイムス社の記事がインターネットで全世界に発信され、それを見た人が、さらに自分のブログ等で紹介し、それをキャッチしたというのだ。正にその伝播力は計り知れない。

（平和かわら版　2009年11月15日号）

Ⅲ　TBS『噂の東京マガジン』百里を取材、1月17日に放映

昨年（2009年）12月14日、「TBSのディレクターですが、明日にでも百里基地を取材に行きたいのですが？」と電話が入った。マスコミ関係者は仕事が忙しいせいもあっていつも自分勝手だ。「こちらの都合があるので 20 日なら結構」と対応した。マスコミには失敗談があったのだ。一昨年5月の連休に同じような電話があった。TBSだからと信用して2日間現地取材に応じた。何のことはない。自民党関宗長議員の「何が何でも百里に茨城空港をつくらなければならない」の一点張りの話しが大々的に流され、反対派大内久美子議員の話しは僅かばかり、取材に応じてもらった現地の宮澤さんは名前も紹介されず、全く「ふざけた」内容だった。

今回はちがうディレクターだが前回の事を話し、企画内容を聞いてから取材に応じることにした。「噂の東京マガジンは25年間つづいていて、その都度話題になっている問題を取り上げるトーク番組で、今回の茨城空港の税金のムダづかいについて取り上げたい」という。「時間配分も1時間番組で百里関係は25分程度で森本毅郎他の出演者のトークが12分、百里基地現地の映像が13分程になる。それでこちらとしては百里空港年間81万人の利用者と廃止された鹿島鉄道鉾田線の年間利用者80万人を関連づけて取り上げたい」という。また、何かいい取材テーマがあったら智恵をかしてほしいというので、国や県におどらされ、旧小川町商店街が活性化するなどと思い込まされた人びとの声と、地元活性化などと関係なく大企業がぼろもうけした話題を提供した。

百里基地の説明を受けるレバノン、ベトナムのアーティスト

さらに20日の当日、百里に案内し基地の概要とたたかいの歴史・民間共用化などについて説明し、宮澤さん、梅沢ご夫婦、栗又さんを紹介させていただいた。暮れの28日と正月の6日に現地撮影し、1月17日の日曜日午後1時から放映された。内容は自衛隊基地の訓練・騒音から共用化問題・百里基地闘争・鹿島鉄道の話など、マスコミにはめずらしく素直に取り上げてくれた。特に、「くの字」の誘導路や茨城空港などはパネルにして解説され、百里の姿を知ってもらう上で大きな力となった。インタビューに応じてくれた4人の方々、ご苦労さまでした。

（平和かわら版　2010年2月15日号）

Ⅳ　メキシコ国立自治大学で百里基地写真展開かれる

同大学はアジアのアーティストを招き世界的規模で「ユートピアとディストピア」展を同大学美術館で2011年6月30日から11月27日までの5カ月間開催しました。さきに紹介したベトナムのディンQ・リーさんの「平和公園：未解決の地」と題する写真パネル（種子敬二撮影の百里基地の6枚）が展示されました。

小屋にパネルを展示しました

初午まつりの参加者に見てもらうため、百里稲荷入り口の小屋（作業チームが２年以上かけて修復）に、昨年の憲法フェスティバル時に作成・展示した百里のパネルを暫定的に展示しました。この小屋の活用が今後の課題になります。

平和公園の管理作業が始まりました

2018年10月31日作業をもっていったん区切りをつけた百里平和公園の整備・管理作業ですが、新たに設立された「一般社団法人百里の会」のもとで、作業を再開しました。今までのようなしっかりした作業チームにはまだなっていませんが、伸びる草はまったなしですので、当面、参加者を募りながら作業を進めて行きたいと考えています。

4月28日に、5人が参加して、2019年の1回目の作業を行いました。門から平和公園までの通路と平和公園内の土地のフェンス際に除草剤を散布し、お稲荷さんの土地の草刈りを行いました。これから、どんどん草が伸びますので、月に1回以上の作業を予定していますので、参加のほどよろしくお願いします。

法人設立から半年がたちました

2018年11月に一般社団法人・百里の会を設立してから半年がたった。主な活動を紹介する。

1　土地の登記　2018年12月に平和公園内の伊達郷右衛門等名義の土地を法人に移転登記した。2019年3月に「九条の丘」（射撃場山）の伊達郷右衛門名義の土地を、法人に移転登記した。

2　「平和公園と九条の丘」の管理作業　「平和公園」と「九条の丘（射撃場山）」の管理に法人として責任を持つこととし、そのための計画を作成した。

3　平和公園への一般見学者の受け入れ方法の確定　2019年1月に、一般見学者の受け入れ方法を確定した。3月末までの見学者は315人であった。

4　広報活動　ニュースを2回発行し、関係団体や県平和委員会の会員に配布した。2018年12月にホームページを開設した。